

2016年上期回顧と2016年下期展望

『どん底の時期ならではの戦略は？
—課題整理と対処方策—』

ブラジル日本商工会議所 食品部会

2016年8月25日(木)

目次

- ◆ 2016年上期業界動向
- ◆ 原材料動向
- ◆ 2016年下期の展望
- ◆ 第二回日伯農業・食料対話への積極的参画

2016年上期の業界動向

◆ 国内市場概況

- この2年間続いた経済情勢の悪化に底入れ感が出てきているものの、食品市場全体としては低調。
- 低価格指向が強まり、嗜好品への支出を抑制する傾向が継続している。
- 外食を控える傾向の中で、内食における低価格・基礎食品等の一部カテゴリーや大都市圏の市場等部分的に明るい兆しも見え隠れしている。

2016年上期の業界動向

<飲料>

- ・発酵乳飲料 食品部会所属会社では金額ベース前年比105%、数量ベース前年並み。
- ・粉末飲料市場 118%(金額ベース前年比)

<調味料>

- ・調味料市場 102%(金額ベース前年比)

<スープ>

- ・粉末スープ市場 90%(金額ベース前年比)

2016年上期の業界動向

<コーヒー>

- ・経済状況の悪化と流通在庫過多により国内消費は伸び悩み。
- ・低価格製品へのシフト。

<即席めん>

- ・対前年93%で推移も、底を打った感が出てきており、下期の市場は回復に向かうと予測。

2016年上期の業界動向

<畜肉・畜肉加工品>

- ・ブラジル産鶏肉の日本在庫過多により、日本への輸出数量は大幅減。
- ・畜産各社は日本向けの数量を中国向けに切替え、結果的に中国向けの数量が過去最高を更新中。

<清酒>

- ・食品部会所属会社では、4月値上げ実施の影響もあり、上期通期で一桁%の伸びに留まる。

2016年上期の業界動向

<チョコレート>

- ・景気の悪化がEaster商戦にも影響、スーパーでのEaster eggの売上は10%程度の落ち込み。

<加工油脂>

- ・チョコレートの消費低迷に伴い、食品部会所属会社のココアバター代用脂の販売も対前年でダウン。

2016年上期の業界動向

<香料>

- ・食品部会所属会社では、主力の菓子・飲料向けが低調も新規開拓で補い、全体として昨年並みの見込。

<食品添加剤>

- ・食品部会所属会社では、既存取引は前年並みも、新規(顧客、用途)開拓は期待を下回る。

2016年上期の業界動向

<種苗>

- ・世界的なM&Aによる業界再編の動きは依然活発。
- ・ブラジル種子業界では景気後退にも関わらず付加価値商品(F1ハイブリッド)需要が伸長。
- ・食品部会所属企業においては、野菜果物種子の売上が好調。
一方草花関係は景気後退影響で前年比減。

2016年上期の業界動向

<タバコ>

- ・食品部会所属会社では販売好調。
レアル安や投資等が利益を圧迫も、
当面事業規模拡大を継続。

<アセロラ製品>

- ・食品部会所属会社では、レアル安の影響を受けて輸出販売は好調に推移。

2016年上期の業界動向

<外食産業>

- ・外食市場の伸長率は、一昨年の16%に対し、昨年・今年とも9%と鈍化。
- ・経済不況の中、特に高級レストランを中心に売上、客数減。

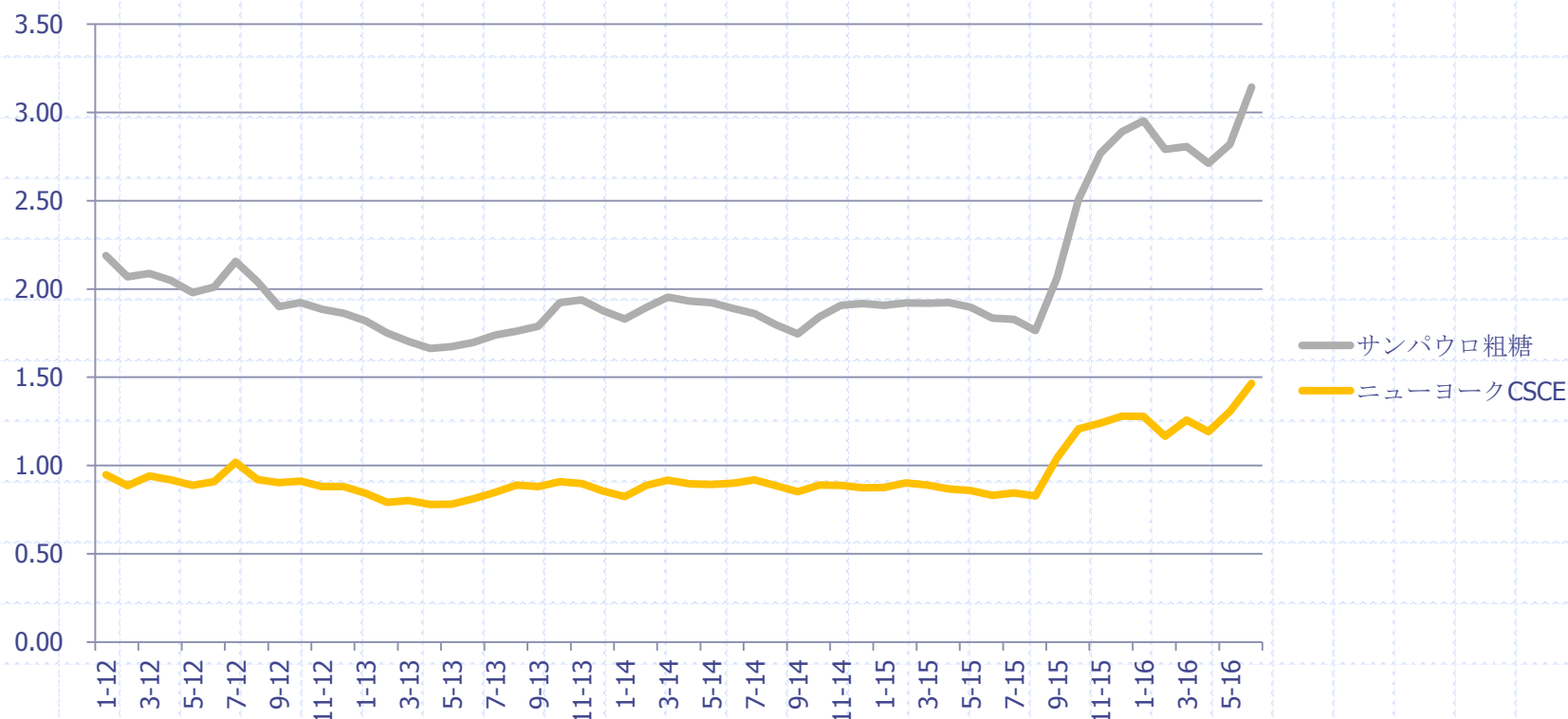
<輸出>

- ・食肉はレアル安が貢献し鶏肉生産増加も、日本向けは在庫過多で価格は下落。
- ・オレンジ果汁は消費地在庫払底により反転。

原料動向

砂糖相場の推移(2012～)

粗糖キロあたりリアル単価

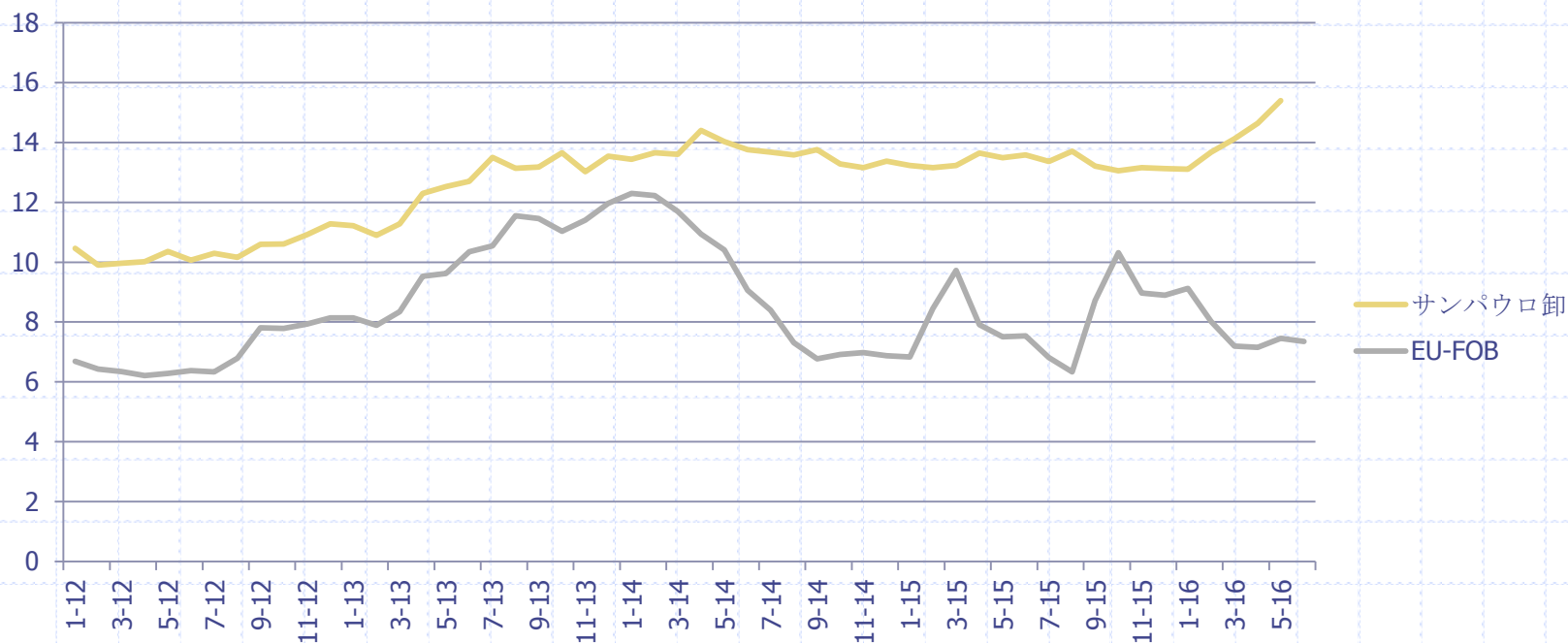


◆2012年以降、サトウキビの生産が安定し相場は落ち着いていたが、2015年後半からの異常気象(ブラジルでの2016年前半の異常降雨もその一つ)による収穫減懸念から高騰、加えてリアル通貨安で国内相場がさらに突出した。

原料動向

乳相場の推移(2012～)

全粉乳キロあたりリアル単価

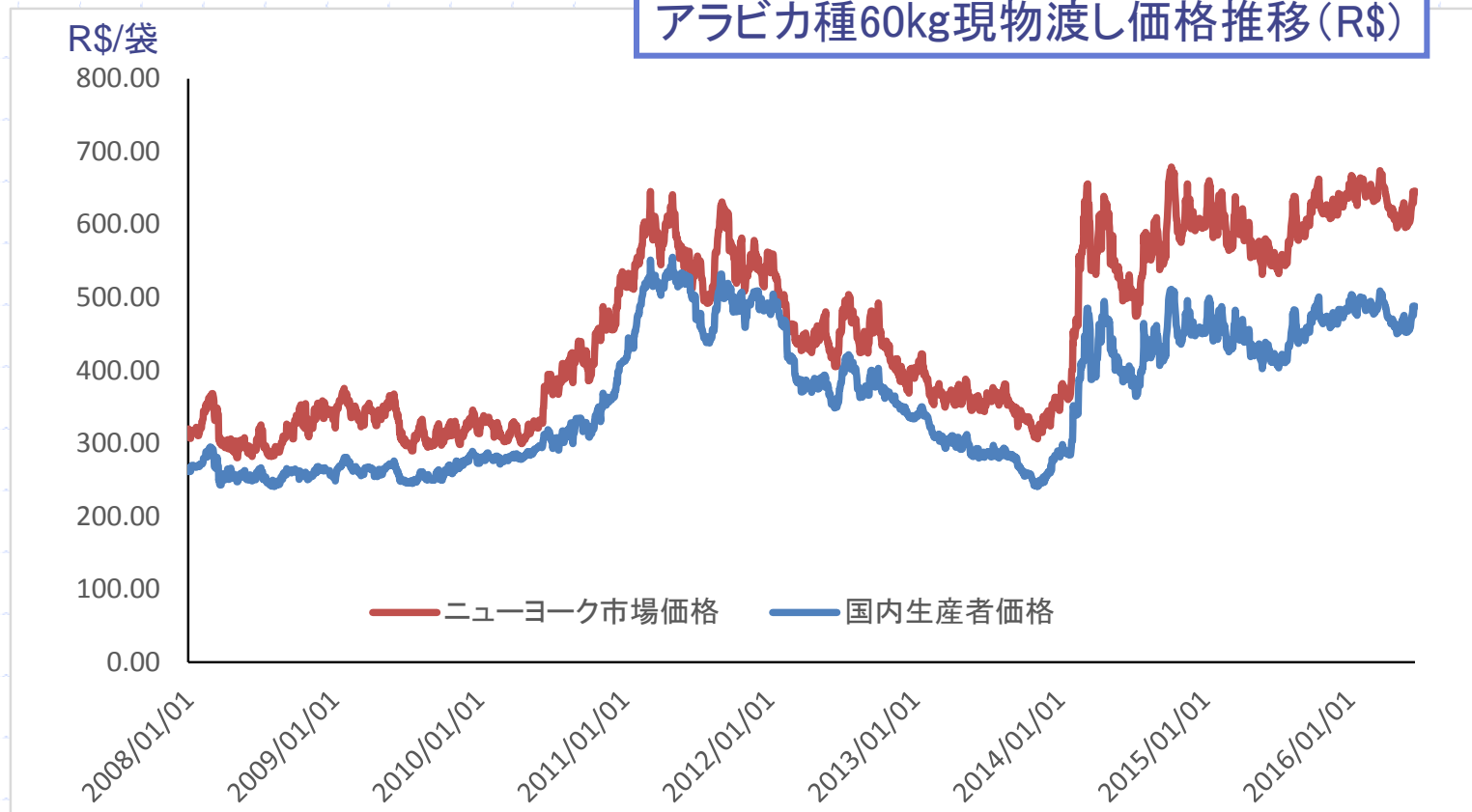


◆乳製品価格は2013年には一大供給地域オセアニアで干ばつによる大不作となり高値のピークを付けた。2014年に入ってから供給増大策が功を奏し国際的には大きく下落したものの、国内相場への影響はほとんどなく乖離が著しい。

原料動向

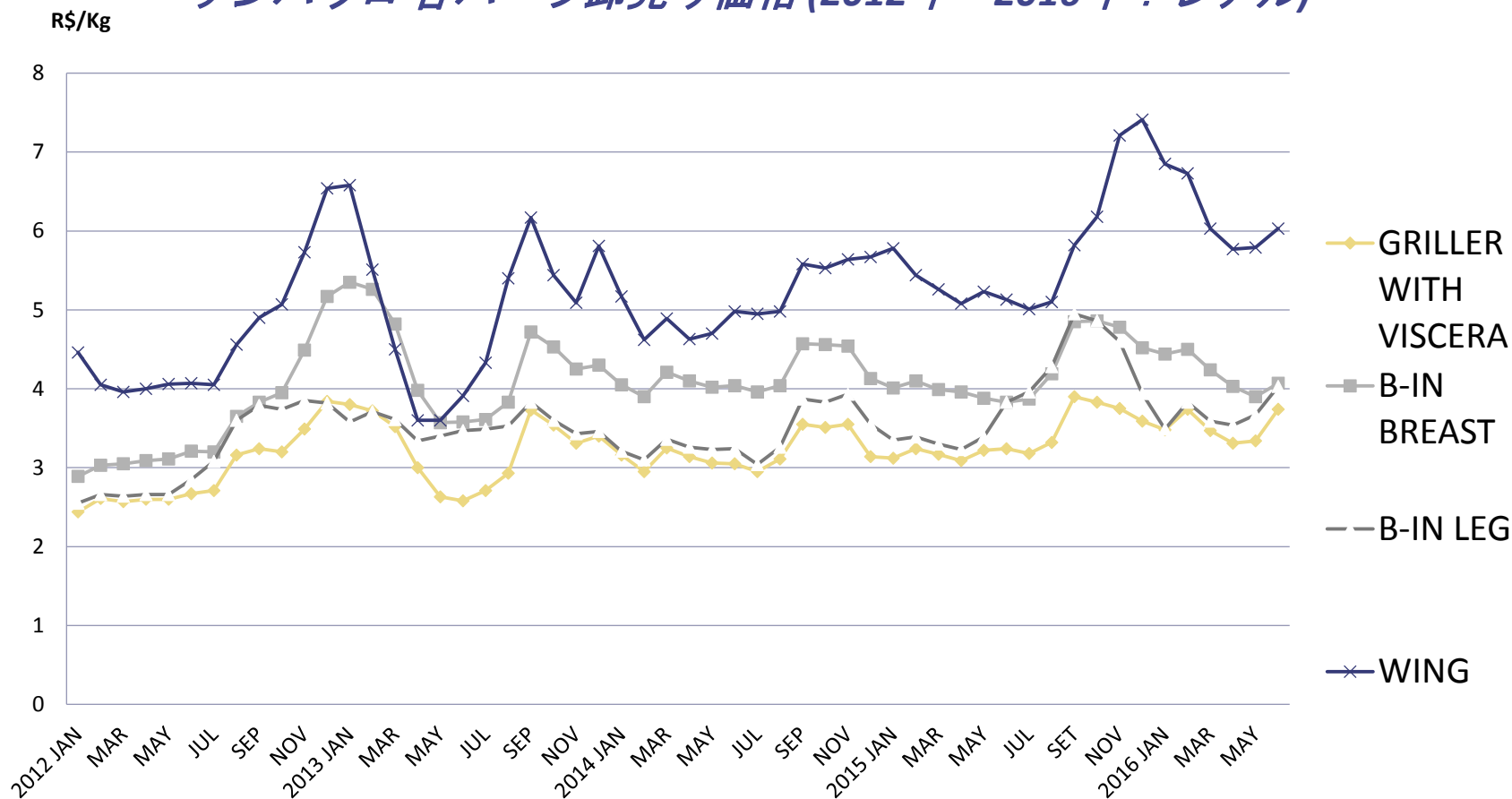
コーヒー相場の推移

アラビカ種60kg現物渡し価格推移(R\$)



- ◆2016年上期は、ブラジル国内相場はR\$450～510のレンジで推移。レアル安継続により米ドル建て競争力が維持され、海外市場からの旺盛な買いが継続した結果。
- ◆2016年はアラビカ種は豊作が見込まれているものの、ロブスタ種の大幅な減産が見込まれていることに加え、引き続きレアル安の影響根強く高値維持が予想される。

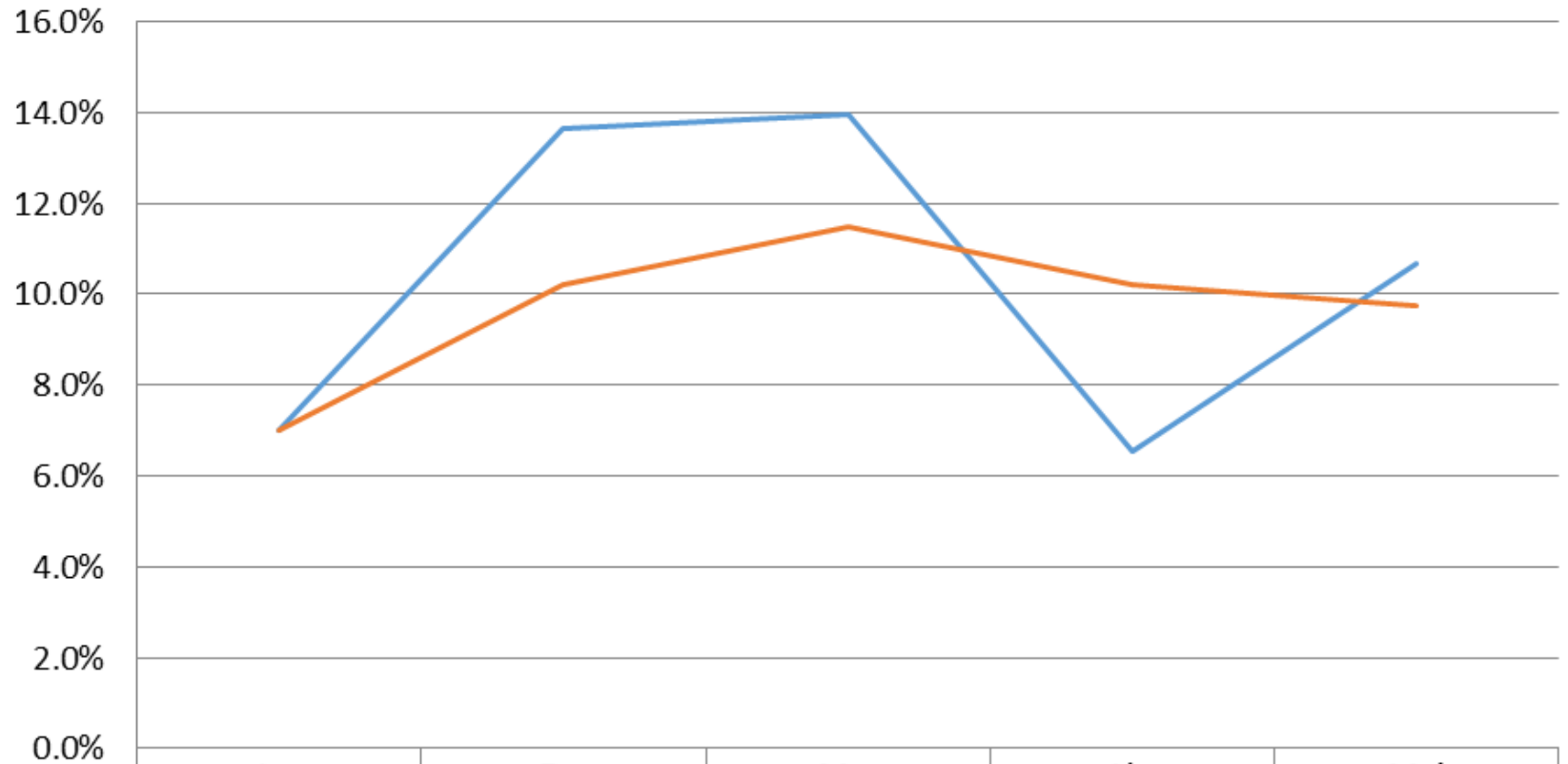
サンパウロ 各パーツ卸売り価格(2012年～2016年：リアル)



資料(FONTE) : JOX

中国向けのWING(手羽)輸出が引き続き好調な事から、国内価格も価格は若干落ち着いたが高止り。その他アイテムでは、B-IN BREAST(骨付きムネ肉)の価格は下落しているが、B-IN LEG(骨付きモモ肉)は急激に中国向けの輸出が増加し、価格が上昇している。また、中東向けに安定的に輸出されているGRILLER(丸鶏)の国内価格も上昇している。

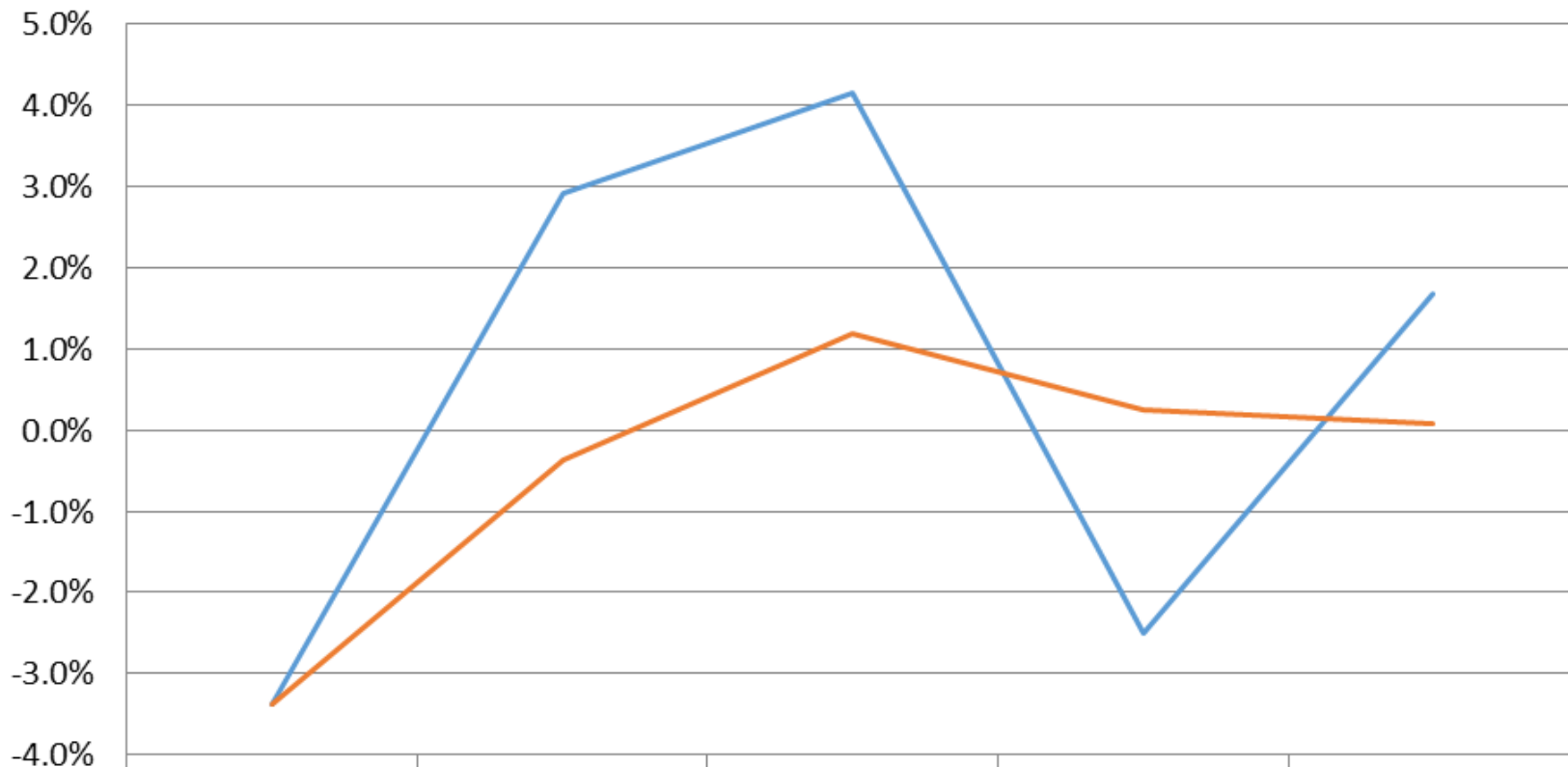
2016年度 スーパーマーケット売上前年比(名目)



— 単月前年比
— 累計前年比

Source: Economic and research
department - ABRAS

2016年度 スーパーマーケット売上前年比(実質)



	Jan	Fev	Mar	Abr	Mai
— 単月前年比	-3.4%	2.9%	4.2%	-2.5%	1.7%
— 累計前年比	-3.4%	-0.4%	1.2%	0.2%	0.1%

Source: Economic and research department - ABRAS

重量ベースの購入量は若干回復しつつあるも 引き続き厳しい状況

Variação de Volume – Cesta Nielsen (%) – Vs mesmo período de 2015



YTD15 Mar YTD15 Jun YTD15 Set YTD15 Dez YTD16 Jan YTD16 Fev YTD16 Mar YTD16 Abr YTD16 Mai

Fonte: Nielsen | Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com
expansão Geográfica

全地域で昨年より購入重量減少。 北部 (Area1)、サンパウロ中心部 (Area4)、南部 (Area6) の購入重量が平均よりも落ち込む

Área I (CE até BA)

Área II (ES, MG, interior RJ)

Área III (Grande RJ)

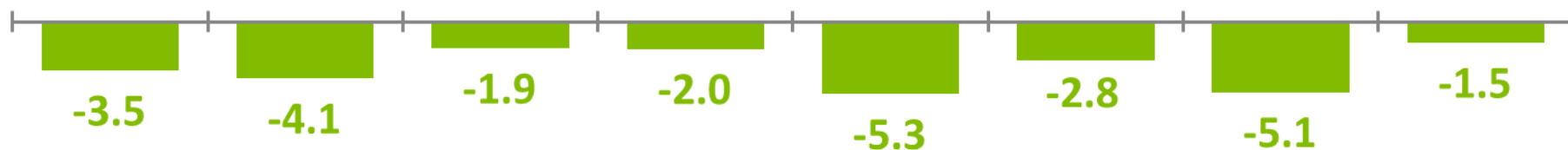
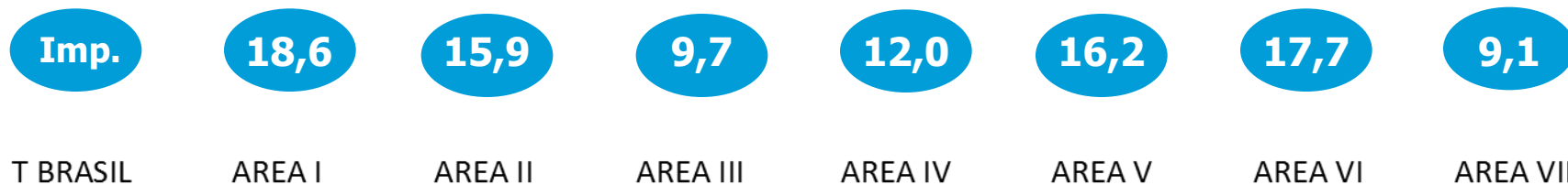
Área IV (Grande SP)

Área V (Interior SP + Litoral)

Área VI (PR, SC e RS)

Área VII (MS, GO e DF)

*データ2016年3月-5月



VARIACÃO % VALOR (Deflacionado)

■ YTD16x15

-4,0	-5,1	-3,4	-2,8	-5,6	-3,5	-4,5	-2,0
------	------	------	------	------	------	------	------

VARIACÃO % PREÇO (Deflacionado)

-0,5	-2,4	-2,8	-0,2	0,6	0,3	1,5	0,9
------	------	------	------	-----	-----	-----	-----

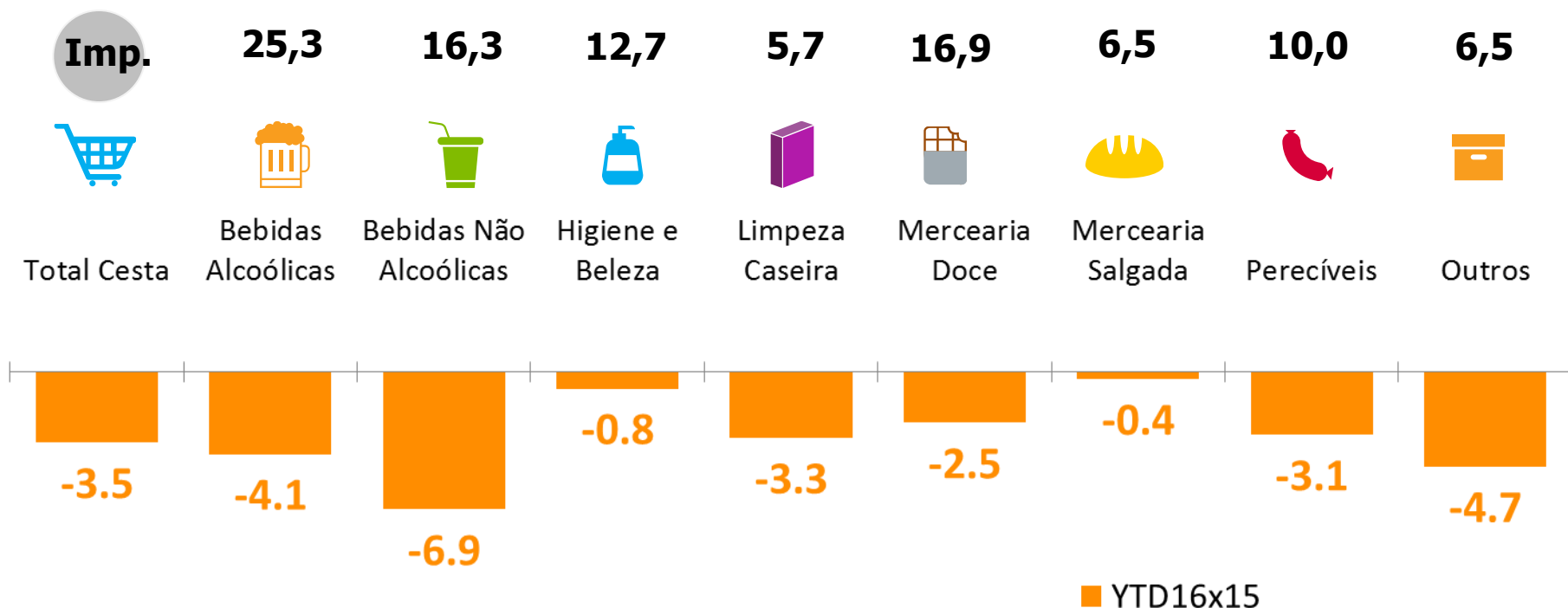
IPCA: 9,81%

Importância das áreas em valor – YTD terminado em MAM

Fonte: Nielsen I Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com expansão Geográfica

カテゴリー別では飲料(アルコール飲料及びノンアルコールの両方)の落ち込みが大きい

*データ2016年3月-5月



VARIAÇÃO % VALOR (Deflacionado)

-4,0	-4,5	-7,1	-0,2	-3,4	-1,4	-0,2	-6,4	-8,0
------	------	------	------	------	------	------	------	------

VARIAÇÃO % PREÇO (Deflacionado)

-0,5	-0,4	-2,8	2,7	-0,4	2,1	2,0	-2,9	-4,1
------	------	------	-----	------	-----	-----	------	------

IPCA: 9,81%

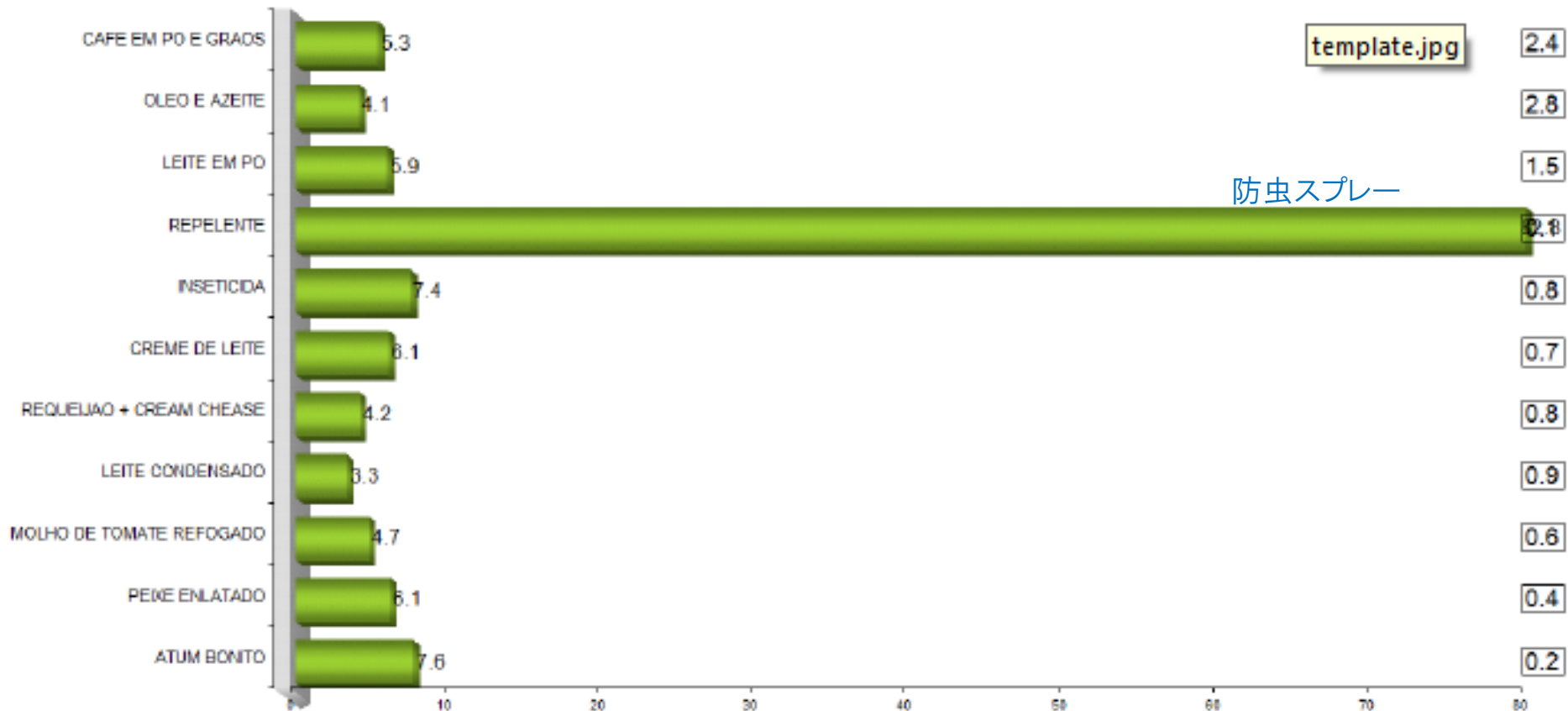
Importância das cestas em valor – YTD terminado em MAM

Fonte: Nielsen | Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com expansão Geográfica

伸長しているサブカテゴリー（前年比）

*データ2016年2月-4月

TOP CRESCIMENTOS

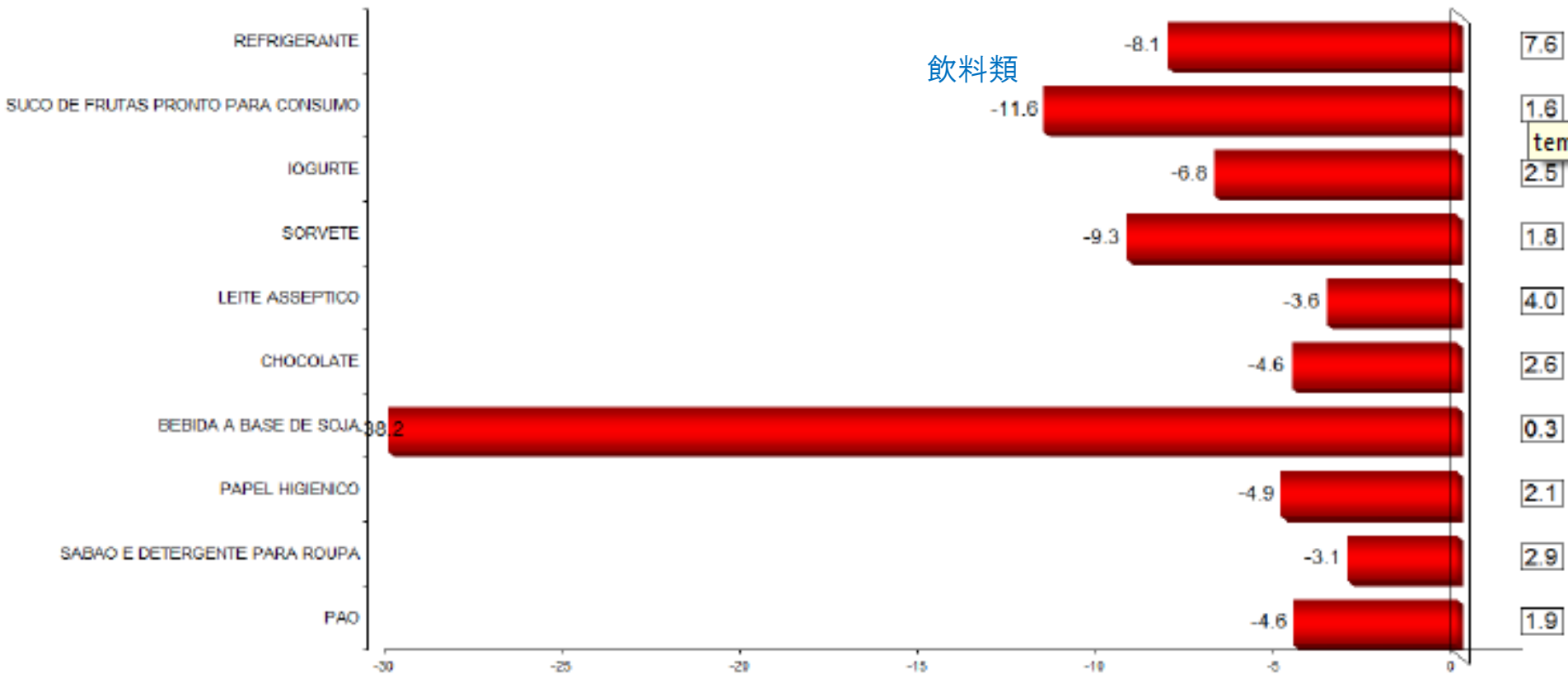


Source: Economic and research department - ABRAS

減少しているサブカテゴリー(前年比)

*データ2016年2月-4月

TOP QUEDAS



Source: Economic and research department - ABRAS

2016年下期の展望

『どん底の時期ならではの戦略は？

—課題整理と対処方策—』

(1) 市場はこの2年間続いた経済状況に対する悲観的な予想を修正し始めており、楽観的な予想が徐々に増加している。6月には本年度と来年度のGDPに関する予想を上方修正した主要銀行やコンサルタントの数が増加した。

⇒消費者の動向や社会的変化を見据えた商品開発や市場開拓。

⇒景気低迷期のビジネス機会を将来に活かす。

例：好条件での投資。(人材、設備、広告等)

買収・提携などによる将来の成長への布石

2016年下期の展望

『どん底の時期ならではの戦略は？

—課題整理と対処方策—』

- (2) 様々な要因によるコスト上昇は継続する一方で、市場環境が厳しい中、販売価格への転嫁が困難で、短期的に収益が悪化することを想定。
⇒変化の時期を構造変化や体質強化のチャンスと見て取り組む。
- (3) 近い将来の景気回復時の波に乗れるよう、事業基盤の強化、新たな事業の種まき等の準備を進める。
- (4) 会員企業の新たなビジネスチャンス発掘につながりうるCAMARA食品部会の取り組みを進めていく。

第二回日伯農業・食料対話への積極的参画

◆ 日時:2016年2月29日～3月1日、場所:トカンチンス州パルマス市

◆ 農林水産省、在ブラジル日本国大使館主催

◆ 第1部:穀物輸送インフラ改善・マトピバ地域農業開発等

①代表挨拶アブレウ前農務大臣、松島農林水産審議官

②アブレウ前農務大臣 講演、マトピバ地域4州知事 挨拶

③日本側講演

穀物輸送インフラ及び農業開発に関する投資・進出状況、要望事項

ブラジルの穀物・油糧種子市場とノバアグリの概要

穀物輸送インフラの改善・整備促進に向けた提言

世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けた提言

第二部:ブラジルへの投資環境の改善・整備

①関税・税制・通関手続き等への要望

②日本・ブラジル間の鶏肉・牛肉輸出入に関する提言

③残留農薬問題～安全な食品の安定供給に向けた両国間の取組み

④ブラジルにおける日本食普及とブラジル農業食品産業のビジネスチャンス

食品部会からの提言事項

～世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けて～

1. 農産物

- ①農産品に価値を付与し、生産量や世界相場に影響受けにくい事業
加工に適した品種栽培、野菜の2次加工への展開、2次加工技術の協力
- ②小規模農家を支援し、これまで以上の品種を輸出できる農業事業
資金支援を通じた安定栽培、収穫の集約を通じた加工事業
- ③分析技術の強化を通じ、迅速で安心な輸出事業
農薬分析、アレルギー分析の技術交流と支援

2. 畜産物

- ①安心品質による輸出大国としての地位の更なる向上
疫病管理ガイドの明確化、科学的根拠の設定支援
- ②様々な肉製品による価値ある市場の形成と市場活性化
牛肉の名称定義の明確化、ライセンス制の検討